

第48回富山市消防研究発表会を開催しました！！

平成29年7月5日(水)、婦中消防署にて第48回富山市消防研究発表会が開催され、富山市消防局8消防署から14名が出場しました。

「消防研究発表会」とは？

消防研究発表会とは、消防職団員が火災や救急などの現場活動や日常業務の中で考案した消防機器の改良・開発、研究について発表するものです。



～入賞した2作品の紹介～



富山消防署北部出張所 消防士 早風 秀俊 「気管挿管固定用補助器具の開発について」

救急救命処置のひとつに挿管チューブによる気道確保があります。

今回開発した器具は、挿管チューブの「折れ」による換気不良を改善することができ、救急隊員3名による救命処置活動がより円滑に行うことができます。

大山消防署 消防士 穴田 夏基 「消火栓、防火水槽の転落防止 注意喚起器具の考案について」

消火栓や防火水槽は蓋を開放した状態で使用するため、転落する危険性があります。

今回考案した器具は、消火栓や防火水槽を上から覆い、またLED照明を取り付けることで、昼夜を問わず、注意喚起を促すことができ、安全性の向上に期待できます。



上記の入賞した2名は、平成29年9月4日、5日に京都市にて開催される「第57回全国消防長会東近畿支部消防研究会」に富山市代表として出場します。